

印刷年月日：2021年05月24日
初版年月日：1993年03月23日
改版年月日：2016年02月26日

安全データシート

SDS No. 16618

1. 化学品及び会社情報

製品名： クリーンライフ T-2

会社名： 栗田工業株式会社
住所： 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
担当部門： 品質保証部

電話番号： 03-6743-5020
FAX番号： 03-3319-2026

緊急連絡先： クリタ関西株式会社
緊急連絡先電話番号： 06-4391-3431
推奨用途及び使用上の制限： 飲料水槽壁面付着鉄錆除去用洗浄剤
* 通常のお問い合わせは、緊急連絡先へお願いします。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性 及び 皮膚刺激性 区分1 (A, B, Cを含む)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分3



注意喚起語 危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激、眠気又はめまい恐れ

注意書き 安全対策

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく洗うこと。

応急措置

粉じんまたはミストを吸入しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
皮膚に付着した場合：汚染された衣類を全て脱ぎ取り除き、皮膚を流水等で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合には外すこと。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

保管

このラベルの指示に従った特別処置が緊急に必要である。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

廃棄

確実に保管すること。紛失・盗難に気をつけること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
都道府県の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：	混合物		
化学名又は一般名	化学式	含有量(%)	
リン酸 有機酸	H3PO4 非開示	10~20 非開示	
化学名又は一般名	化審法番号	CAS No.	安衛法番号
リン酸 有機酸	1-422 非開示	7664-38-2 非開示	
危険有害不純物	分析結果	検出限界	分析方法
総水銀(Hg) ヒ素(As2O3)	検出せず 検出せず	0.01mg/kg Hg 0.1mg/kg As2O3	還元気化原子吸光度法 DDTC-Ag吸光度法

鉛(Pb)	検出せず	0.05mg/kg Pb	原子吸光度法
シアン(CN)	検出せず	0.1mg/kg CN	ヒリジニピラソロン吸光度法
総クロム(Cr)	検出せず	0.5mg/kg Cr	ジフェニカルハシト吸光度法
カドミウム(Cd)	検出せず	0.01mg/kg Cd	原子吸光度法

4. 応急措置

◆情報◆

吸入した場合

液体品であり吸入によって急性毒性を起こすほどの危険性は極めて少ない。
 取扱いに気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し、充分にうがいを行ない、安静保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

酸性であり皮膚に付くと炎症を起こすことがある。
 触れた部位を、多量の水で洗い流す。
 汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。

眼に入った場合

眼に入ると、炎症を起こすことがある。
 直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

口・のど・胃を刺激し、嘔吐・腹痛・下痢などを起こすことがある。
 直ぐに医師の治療を受けて下さい。もし飲み込んだ場合は、医師の指示があるまで無理に嘔吐させない。

5. 火災時の措置

消火方法

水溶液なので、すぐ引火する危険性はない。
 引火点が無く、不燃性であるが、周辺に火災が発生した場合は火元から遠避ける。
 引火点が無く、不燃性であるが、周辺に火災が発生し移動が困難な場合には、梱包に燃え移らないように消火剤で消火する。消火剤が梱包にかかっても危険は無い。

消火剤

使ってはならない消火剤

消火剤には、水・炭酸ガス・粉末消泡剤・泡消火剤・砂を使用してよい。
 引火点が無く、不燃性であるが、周辺に火災が発生し、移動が困難な場合、熱により膨張して容器が破損して流出する恐れを無くす為には、水で消火・冷却するとよい。
 ダンボール梱包に水をかけて消火した場合には、ダンボールの外装梱包が破損する。
 水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤

6. 漏出時の措置

漏出時の措置

大量に漏洩した場合は、できるだけ容器に回収する。
 少量の漏洩の場合はウエスで拭き取り、水で洗い流す。

除去方法

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。

使用済みの容器を飲料用、その他の用途に使用しないこと。

アルカリとの混合を避けること。

混合不可：次亜塩素酸ソーダ(有害な塩素ガスの発生)：金属類(引火性の水素ガスの発生)

原液で使用して下さい。

換気をよくする。

取扱後は手洗い、洗顔等を十分に行う。

技術的対策

安全取扱注意事項、接触回避

【保管】

使用時以外は直射日光を避け、換気のある冷暗所に密閉保管する。

アルカリと離して保管すること。

安全な保管条件

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度

設定されていない

りん酸：

日本産業衛生学会(2005年)TLV-TWA 1 mg/m³

ACGIH (2006年)TLV-TWA 1 mg/m³

(注) TLV-TWA：1日8時間、1週間40時間の労働時間内の時間加重平均暴露許容濃度の勧告値

設備対策	管理・許容濃度以上の作業環境では局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	保護マスク着用
手の保護具	ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用
眼の保護具	保護眼鏡着用
皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣着用

9.物理的及び化学的性質

色	無色
形状	液体
臭い	
pH	1.0以下 (20°C)
融点・凝固点	-8°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	
引火点	なし
爆発範囲 上限 下限	爆発範囲上限: 爆発範囲下限:
蒸気圧	
比重	1.12~1.16(20°C)
溶解度	水:任意の割合で溶解する
n-オクタノール／水分配係数	
自然発火温度	
分解温度	
粘度	10mPa・s以下(20°C)
CODMn量	1.7%
BOD	
全窒素含有量(T-N) %	0
全リン含有量(T-P) %	7.1
その他データ	

10.安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の保管条件では安定である。
特定条件下で生じる危険有害反応可能性	
避けるべき条件	
混触危険物質	
危険有害な分解生成物	

11.有害性情報

急性毒性	LD50:ラット(経口):6200mg/kg以上(成分からの計算値)より(GHS分類)区分外となる。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚に付くと炎症を起こすことがある。pH:2.0以下であることから(GHS分類)区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	眼に入ると、刺激を与え痛みを起こすことがある。pH:2.0以下であることから(GHS分類)区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	
発がん性	
生殖毒性	
特定標的臓器毒性、単回ばく露	リン酸の厚生労働省分類により(GHS分類)区分3となる。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	
吸引性呼吸器有害性	
その他の有害性	

12.環境影響情報

生態毒性	LC50:ヒメダカ(24)時間:110mg/L
残留性・分解性	
生体蓄積性	
土壌中の移動性	
オゾン層への有害性	

13.廃棄上の注意

(残余廃棄物)の廃棄上の注意	直接排水溝には絶対流さないこと。 薬品原液たは、産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物(廃酸)として、委託し処理する。
----------------	--

(汚染容器・包装)の廃棄上の注意
その他

空容器は、内容物を十分に排出し、口栓を確実に閉じてから処分する。
洗浄廃液は、アルカリで中和し大量の水で希釈して排水規制値以内に処理し、放流するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。。

14.輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報

国連分類:クラス8(腐食性物質)、国連番号3265

容器等級
海洋汚染物質
海上輸送コード(IMDGコード)
航空輸送コード
その他

容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

15.適用法令

消防法	該当なし	
毒物及び劇物取締法	該当なし	
化学兵器禁止法	該当なし	
輸出貿易管理令	該当なし	
労働安全衛生法	該当あり	
リン酸	法 第57条の2 通知対象物	
リン酸	法 第57条 名称等を表示すべき有害物	
船舶安全法	該当なし	
航空法	該当なし	
港則法	該当なし	
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし	
海洋汚染防止法	該当あり	
リン酸	法 第3条第3号 有害液体物質	
海洋汚染防止法	該当あり	法 第3条第3号 有害液体物質
廃棄物処理及び清掃に関する法律	該当あり	特別管理産業廃棄物(廃酸)
航空法	該当なし	
港則法	該当なし	

16.その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上